



トピックス

- ▶ 青少年海外派遣レポート ▶ 生活講座レポート ▶ 日本語スキルアップ講座レポート ▶ 講師になった藤原
- ▶ 協会からのお知らせ

すべての派遣チームが帰国

写真は後発のベルンドルフ市チームとホットスプリングス市チームの様子です。

ベルンドルフ市チームはヘルシンキ経由でオーストリアに入国し、ホットスプリングス市チームはダラス経由で到着。約1週間ホームステイや学校訪問などを通じて交流しました。詳しい内容は引率職員からのレポートをご覧ください。



引率職員レポート

クリントン村10/26~11/4 (引率 佐々木)

「実感ない」「昨日まで夢だと思っていた」とワクワク気分でクリントン組は出発。シカゴ空港到着後、担当のアーロン先生の車でクリントンへ。どの家庭もとてもホスピタリティーが素晴らしい、初日にはうどんなど日本食を用意していたホストファミリーもいたとのこと。

27日はマディソンを訪問し、動物園と州議会議事堂を見学。朝はスタバ、ランチにはマックを食べ、チェーン店を満喫し、生徒達はとても嬉しそうでした。週末のホストファミリーデーではシカゴへ行ったり、NBAの試合を見に行ったり、それぞれ楽しみました。

週明けの通学体験では、歴史や数学、家庭科や美術などの通常の授業にホストファミリーの生徒と一緒に参加。日本との学校の違いを存分に感じたようです。

ハロウィンの日は午前中5回のプレゼンとけん玉や折り紙など日本の遊びをグループワークで行い、午後は小学校を見学。滞在最終日はミルウォーキーの博物館を見学しました。

帰国日はホストファミリーと涙のお別れ。ホストファミリーの中には、今度は花巻に行きたいと話していた生徒もあり、再会が楽しみです。



ラットランド市10/26～11/5 (引率 国際交流協会 佐々木)

生徒6人は明るくポジティブで、最初から最後までとても助けられました。入国審査も先陣を切った生徒のおかげで何事もなくすんなり。謎の混雑で3時間並びましたが、次の飛行機にも無事間に合い、バーリントン空港に無事到着。そこからラットランドまでは車で2時間。その夜はホテルに1泊しました。朝起きると生徒1人が38℃超えの発熱。ですが、そこからのラットランドのみなさんの対応がとても素晴らしく、また生徒の回復力も相まって次の日には熱が下がっていたことに感謝でした。



滞在中はラットランドのHFにより考えられたプログラムで過ごしました。それぞれのHFの強みを生かし、学校見学・ラットランドの歴史に関する特別講座・冬山のハイキングなどを体験。またHFは私たちの訪問を心待ちにしていたこと、Google翻訳の機能をフル活用していたこと、そして生徒たちの持ち前の社交性もありとても仲良くなって帰ってくる事ができるようになります。帰りの飛行機ではカムチャッカ半島の火山噴火により5時間遅延し、急遽東京に1泊することに。そういえば、私が中学生の時ラットランド派遣に参加した時も台風の影響で7時間遅延したな…としみじみ。長い旅路を7人全員が無事帰ってくる事ができ本当に良かったです。



ベルンドルフ市11/5～14 (引率 はなまきし国際交流室 すずき)

海外に行くのもホームステイも初めての体験となる市内中学生6人と大迫高生2人を、矢沢中学校三浦先生と大迫高校大木校長先生とともに引率し（お二人がいて心強かったです。ありがとうございました。）、オーストリアのベルンドルフ市へ。ヘルシンキ空港から乗り継いで、オーストリアのウィーン空港に到着。新花巻駅を出発してから約30時間の旅でみんなヘトヘトでしたが、ベルンドルフ市の方々に迎えていただき、ウィーンの街並みや馬車が走る光景に感動して疲れも吹き飛んでいました。大使館にてオーストリアと大使館の業務についてお話を聞くことができる貴重な体験をした後、ついにベルンドルフ市へ。ギムナジウム校でそれぞれのホストファミリーと対面して解散しました。



次の日からは午前中は学校での授業に参加、生徒たちはスマホの翻訳機能を使いながらもすぐに現地の生徒と仲良くなっていました。午後はベルンドルフ市内のグーグルツィップ展望台、市民劇場や小学校のスティルクラッセンなどを見学。木曜日の午後はギムナジウム校の歓迎式、金曜日にはウィーン観光後に友好協会の歓迎式に参加し、それぞれの歓迎式で生徒達は練習してきたプレゼン発表を立派にやり遂げました。歓迎式では多くの人からお土産をいただき大変恐縮しました。土日はウィーン、トレイルラン、動物園などの見学や、ボーイスカウトのパーティーへの参加など、それぞれのホストファミリーが考えてくれた日程で楽しく過ごしたようでした。

帰国日は涙のお別れ。「帰りたくない」と話す生徒も。この派遣を機に生徒達が両市の交流に積極的に関わってくれることを期待します。



ホットスプリングス市11/6~15 (引率) 花巻国際交流協会 多田

初めての海外に生徒達はワクワクして飛行機に搭乗しました。トランジットのダラス空港では海外お決まりの出発ゲートの突然変更引率の私はドギマギ。そんな私を置いて置き生徒は初めてのアメリカに大興奮。やっとホットスプリングス市に到着するや、熱烈な歓迎の中、皆それぞれのホストファミリー宅へ分かれて行きました。



平日は学校見学をしました。授業は黒板の代わりに大きなタッチパネル式のスクリーン使用し、生徒はパソコンで授業を受けていました。突然のプレゼン発表が何度かあり生徒からは「え～準備してない」の声もありましたが、日本で何回も練習した成果が出てスラスラ発表できていました。携帯を駆使して交流する生徒達、私の時代は電子辞書だったのに…。人形の牛の角を目掛けてロープを投げる、ダンス、アメフトなど様々な授業に参加させてもらいました。

帰りは成田着陸時の揺れにみんなグロッキー。成田エクスプレスの東京駅到着が大幅に遅れ、新幹線出発のわずか10分前。駅で大荷物を抱えながら猛ダッシュ。出発のチャイムが鳴る中全員無事乗り込みました。

初めて親元を離れて、旅をした生徒達。行く前は不安そうなお子もいましたが、派遣先では臆することなく交流する姿に引率として嬉しくなりました。



結びに、引率教諭の南城中学校葛西先生、花巻東高校チーム引率の菅原教頭先生、慣れない引率をフォローいただきありがとうございました。



ゴミの分別講座

ゴミの捨て方を一緒に勉強しよう

11月19日(日)生涯学園都市会館(まなび学園)で上記講座を開催しました。講師は花巻市生活環境課の北田智也氏です。講義のあと、実際にグループごとにゴミを分別してみました。先生にチェックしてもらると、ほとんど正解☆1位のチームには賞品として花巻市指定のゴミ袋がプレゼントされました。



受講生からの質問も活発でした。Q「ヨガマットはどうやって捨てますか」皆さんはどう捨てるかご存知でしょうか？60cmの大きさに切って燃えるごみとして捨てます。どうして60cmかというと焼却炉の入り口の幅なそうです。Q「生ごみはどうやって捨てますか」水気を絞って捨てる。少しでも焼却炉の温度を下げないようにするためだそうです。知らなかったこともたくさんあって大変ためになる講座でした。

ゴミの分別で不安があれば「ごみサク」で検索し花巻市を選び、知りたいごみの品名を検索すると何ゴミに分別できるか教えてくれるサイトがあります。



令和5年度定住外国人支援事業
「第2回日本語スキルアップ講座」

にほんごのうりょくしけん
日本語能力試験
JLPTN3・4レベル

ぶんぽう どっかい ごい
文法・読解・語彙の

にほんごべんきょうかい 日本語勉強会



11月5、12、19、26日（日）生涯学園都市会館（まなび学園）で日本語
スキルアップ講座を開講しました。

受講生のみなさんは真剣な表情で講座に取り組んでいました。レベルの高
い質問が飛び交っていました。

こうし 講師になった藤原@ ふじわら やざわしょうがっこう 矢沢小学校



11月21日（火）「第251回未来パスポート」で藤原が
講師の1人として矢沢小学校を訪れ、小学6年生65名に
12名の講師が仕事や経歴などについてお話ししました。

藤原は持参したフリップを駆使して、国際交流協会が
どんな仕事をしているのか紹介しながら、中学生になっ
たら海外派遣にぜひ応募して欲しいと宣伝に努めました。

ちなみにオープニングを飾った「円高と円安」の話題に
みなさん興味深々の様子でした。

協会スタッフの独り言

今年もクリスマスツリーを飾る季節がやってきました。事務所内もクリスマスの飾りで華やかになる
予定（まだ飾ってない）。今年も12月22日はアグリーセーターを着る予定。もちろん事務局長は毎年
恒例の藤原サンタ🎅。

協会の年末年始業務について

花巻国際交流協会は、2023年12月29日（金）から2024年1月3日（水）まで年末年始のため休
業させていただきます。

本年も当協会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。2024年もよろ
しくお願いいたします。

問い合わせ先

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割183番地1
TEL: 0198-26-5833 FAX: 0198-26-5855
E-MAIL: kokusai_staff_d@ext.city.hanamaki.iwate.jp
ホームページ: <http://hanakokusai.wordpress.com>
開館時間: 8:30~17:15（土日祝祭日、年末年始は休業）

